

推進委員ちば

Vol.395

2024. 4.

千葉県交通安全活動推進センター



【いすみ地域交通安全活動推進委員協議会の活動報告】

2月11日「第49回夷隅郡市一周駅伝大会」の開催に伴い、いすみ市・御宿町の会場周辺において、警察・関係団体と共に見学者の交通誘導を実施して、交通の円滑と事故の防止に努めた。

令和6年 春の全国交通安全運動

期 間 令和6年4月6日(土)から4月15日(月)まで

スローガン ~挙げる手を やさしく見守る 横断歩道~

運動重点

- 1 こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- 2 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
- 4 「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」社会環境の醸成

推進委員協議会の活動

(活動報告から抜粋しました。)



習志野

◆高齢者交通安全教室の開催

2月20日、習志野市県営平和団地において「交通安全教室」を開催し、自転車保険の加入促進と自転車ヘルメットの着用を呼びかけた。



千葉東

◆高齢者交通安全教室の開催

2月21日、千葉市若葉区「愛生尚寿会」において「交通安全教室」を開催し、自転車保険の加入促進と自転車用ヘルメットの着用を呼びかけた。



市川

◆自転車安全利用キャンペーン

2月14日、市川市八幡小学校周辺において、警察・関係団体と共に、自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、自転車の安全利用を呼びかけた。



船橋

◆交通事故防止キャンペーン

2月16日、JR船橋駅周辺において、警察・関係団体と共に、買い物客にチラシや啓発物資を配布して、交通事故の防止を呼びかけた。



野田

◆飲酒運転根絶キャンペーン

2月15日、野田市内「イオンノア店」において、警察・関係団体と共に、買い物客にチラシや啓発物資を配布して、飲酒運転の防止を呼びかけた。



行徳

◆自転車安全利用キャンペーン

2月13日、行徳駅前において、警察・関係団体と共に、自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、自転車の安全利用を呼びかけた。



佐倉

◆自転車交通安全教室の開催

2月27日、八街市立八街北小学校において、警察・関係団体と共に、校庭に模擬道路を設置して、自転車の正しい乗り方を指導した。



柏

◆自転車安全利用キャンペーン

2月15日、柏市内の高等学校の通学路において、自転車通学者に対し、自転車利用時のルール遵守とマナー向上を呼びかけた。



君津

◆自転車安全利用キャンペーン

2月20日、JR君津駅周辺において、警察・関係団体と共に、自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、交通事故の防止を呼びかけた。



香取

◆交通安全キャンペーン

2月16日、道の駅「発酵の里こうざき」において、警察・関係団体と共に、買い物客にチラシや啓発物資を配布して、交通事故の防止を呼びかけた。

交通指導員募集！



千葉県交通安全協会では、交通指導員(ボランティア)を募集中です。

交通指導員は、地域の交通安全を支える重要な役割を担っており、地域・社会貢献等に興味・意欲のある方の応募をお待ちしております。

活動内容は、交通安全教室・街頭キャンペーンなどです。応募方法や活動内容等の詳細については、千葉県交通安全協会事務局まで、お問い合わせください。

問い合わせ ☎043-271-8481

2月末現在の交通事故発生状況

(令和6年2月末)

◆ 県内の交通事故発生状況

区分	総数	前年比
発生件数	1,898	-148
死者数	25(24)	+1(±0)
負傷者数	2,247	-190

※ 死者数欄の()内は発生件数を示す。

◆ 死者数の多い都道府県

順位	区分	死者数	前年比
1	千葉	25	+1
2	兵庫	22	+7
2	愛知	22	+6
4	東京	21	+5
5	大阪	20	-6
6	福岡	18	+1
7	広島	17	+3
8	神奈川	13	-5
9	岐阜	12	+8
9	静岡	12	+7
9	愛媛	12	+7
9	茨城	12	-7

○全国の死者数 405人
(前年比 +18人、+4.7%)

◆ 死亡事故の特徴

1 事故類型別発生状況

- 事故類型別では、車両対歩行者が12件(50.0%)と最も多く、次いで車両相互が7件(29.2%)、車両単独が5件(20.8%)である。
このうち、自転車関連事故の内訳は車両単独が1件である。

2 昼夜間別発生状況

- 昼夜別では、昼間が9件(37.5%)、夜間が15件(62.5%)で夜間の発生が多い。
- 昼間の類型別では、車両単独が4件(44.4%)、車両相互が3件(33.3%)、車両対歩行者が2件(22.2%)、夜間の類型別では、車両対歩行者が10件(66.7%)、車両相互が4件(26.7%)、車両単独が1件(6.7%)である。

3 年齢層別死者数

- 年齢別では、高齢者が9人(36.0%)と最も多く、次いで50歳代が4人(16.0%)、30歳代及び40歳代がそれぞれ3人(12.0%)、若者及び60歳～64歳がそれぞれ2人(8.0%)、子供及び25歳～29歳がそれぞれ1人(4.0%)である。

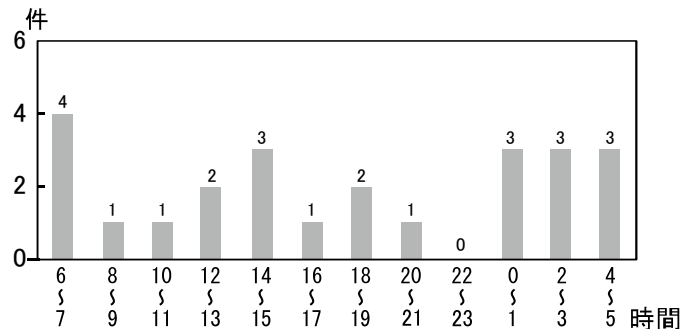
4 状態別死者数

- 歩行中死者が12人(48.0%)と最も多く、次いで四輪乗車中死者及び二輪乗車中死者がそれぞれ6人(24.0%)、自転車乗用中死者が1人(4.0%)である。
- 四輪乗車中死者のうちシートベルト非着用者は3人(50.0%)である。

5 法令違反別発生状況

- 前方不注意が10件(41.7%)と最も多く、次いで運転操作不適が3件(12.5%)、信号無視、安全不確認及び動静不注視がそれぞれ2件(8.3%)、通行区分、酒酔い、一時不停止、安全運転義務その他及びその他の違反がそれぞれ1件(4.2%)である。

6 時間別死亡事故発生状況



発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会 千葉県交通安全活動推進センター ホームページアドレス https://www.chiba-ankyo.or.jp		〒261-0025 千葉市美浜区浜田2丁目1番地 千葉県警察本部交通部運転免許本部内 TEL 043-271-8481
--	---	---